

## スーパーヘッド用106ccクランクキット 取扱説明書

商品番号	適合車種	フレーム番号
01-10-1132	6Vモンキー/ゴリラ Sクランク	Z50J-1300017 ~ 1323946
01-10-1232	6Vモンキー/ゴリラ Lクランク	Z50J-1323947 ~ 1805927
01-10-1432	12Vモンキー/ゴリラ Rクランク	Z50J-2000001 ~ AB27-1000001 ~

- ・このたびは、TAKEGAWA 商品をお買い上げ戴きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願いいたします。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

### ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。

このキットの取り付けにはエンジン脱着、クランクケース分割等の作業が必要になります。各車種専用のホンダ純正サービスマニュアルを準備し、取り付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。

ハイクオリティシリンダーを使用する場合は、クランクケースの加工が必要となります。クランクケースのボーリング加工をすると、クランクケース本体の耐久性は低下します。それにより、クランクケースが損傷する場合があります。あらかじめご了承下さい。

この製品を取り付け使用し、当社製品以外の部品に不具合が発生しても当社製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。

商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

点火系は、別紙「使用パーツ一覧」に記載されている事項を厳守下さいませようをお願い致します。

他社製品の点火系は絶対に使用しないで下さい。

スパークプラグは焼け具合により熱価を設定して下さい。尚、抵抗入りスパークプラグを必ずご使用下さい。

クラッチはスペシャルクラッチ、乾式クラッチをご使用下さい。ノーマルクラッチや強化クラッチでは容量が不足し、滑りが生じます。

オイルポンプは必ず強化型の物に交換して下さい。

必要に応じてオイルクーラーを装着して下さい。

エンジンオイルはAPI SF級以上で、SAE 10W-40 / 15W-50程度の物をご使用下さい。

燃料は必ずハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。

使用限界回転数は10500rpmとなります。エンジン回転計を取り付け、必ず限界回転数以下でご使用下さい。

スプロケットは出力に応じた物に変更して下さい。

このキットは単独で使用出来ません。必ずエンジンに見合ったキャブレター、マフラーを装着して下さい。別紙の「使用パーツ一覧」を参照して下さい。

### 急発進・急加速

空ぶかし、急加速、急激なエンジンブレーキはエンジンに高負荷がかかります。最悪の場合はクランクシャフトが破損し、エンジンを壊してしまう恐れがありますのでご注意ください。

### ⚠ 注意

下記内容を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

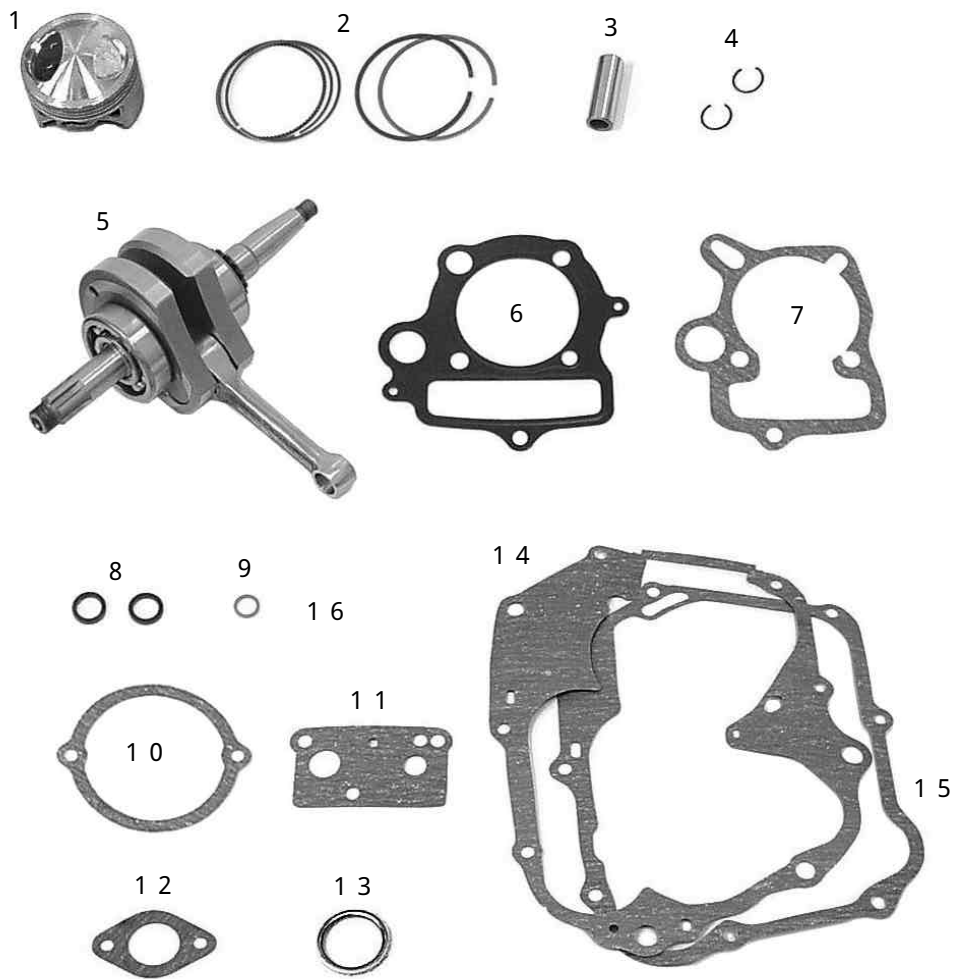
- ・一般公道では、法的速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。(部品の脱落の原因となります。)
- ・ガスカート、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

### ⚠ 警告

下記内容を無視した取り扱いをすると人が死亡したり、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・エンジンを始動させるときは、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を確実に安定させ、安全に作業を行って下さい。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行って下さい。

~ 商 品 内 容 ~



番号	部 品 名	個数	番号	部 品 名	個数
1	ピストン	1	9	ラバーガスケット 7.5mm (グリーン)	1
2	ピストンリングセット	1	10	L. シリンダーヘッドサイドカバーガスケット	1
3	ピストンピン	1	11	R. シリンダーヘッドサイドカバーガスケット	1
4	ピストンピンサークリップ	2	12	インレットパイプガスケット	1
5	クランクシャフトCOMP.	1	13	エキゾーストパイプガスケット	1
6	シリンダーヘッドガスケット	1	14	クランクケースガスケット	1
7	シリンダーガスケット	1	15	R. クランクケースカバーガスケット	1
8	ラバーパッキン 16mm (ブラック)	2			

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。

クレームについては、商品の材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて戴きます。但し、正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいませお願い致します。

## 組み付け前に

エンジン脱着、クランクケース分割等、作業が必要になります。適応車種にあったホンダ純正サービスマニュアルおよび、TAKEGAWAテクニカルノートを必ず参照し、確実に作業を行って下さい。

組み付けには、各車両の仕様に応じたガスケット、パッキン類等が必要となりますので、別途お買い求め下さい。

SET内容をご確認下さい。

シリンダ・ヘッド締め付けナット、ワッシャ、ボルト、ノックピンなどの部品は点検し異常がなければ再使用しますのでご注意ください。

⚠ 警告：各部の点検・消耗品の確認・交換は確実に行って下さい。

ノーマルのカムチェーンでは切れてしまう可能性があります。ノーマルのオイルポンプではエンジンが潤滑不良を起こす可能性がありますので強化カムチェーンやス・バ・オイルポンプの使用をおすすめします。

ノーマルキャブやノーマルマフラーでは調子が出ないので当社製ピックアップや高性能マフラーの装着をおすすめします。

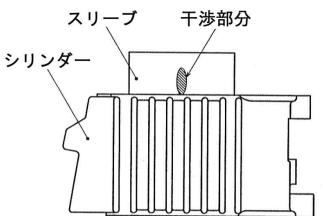
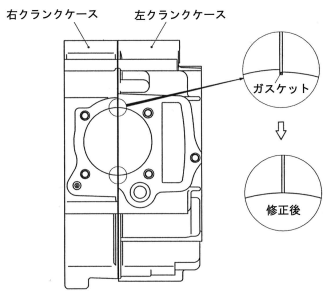
エンジンの出力によってはクラッチが滑る場合がありますので、当社製強化タイプクラッチの装着をおすすめします。

ボアアップすると50ccのままのギヤ比ではロ・ギヤードすぎて各バ・ツの摩耗が早くなりますのでエンジンの出力にあったスプロケットの変更をして下さい。

ボアアップを装着するエンジンからシリンダ・ヘッド、シリンダ・ベ・ス面を取り外す。シリンダ・ヘッド締め付けナット、ワッシャ、ボルト、ノックピンなどの部品は点検し異常がなければ再使用しますのでご注意ください。

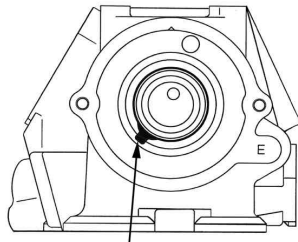
取り外したヘッドのR・サイドカバーを取り外しロッカ・ア・ムシャフトを取り外す。これも点検し異常がなければ再使用します。

クランクケースのシリンダ・ベ・ス面にベ・スガスケットのかすが残っている場合、スクレイパー・ヤカッターでガスケットかすを取り除きシリンダ・ベ・ス面をきれいにしておく。クランクケースのスリ・ブホ・ルに段がある場合、スリ・ブを押ししてしまう可能性があるため削る。



## カムシャフトの組み付け

カムシャフトのベアリングとカム山にエンジンオイルを塗布する。シリンダ・ヘッドのカム穴にあるカム山の逃げ部(矢印部分)にインテークのカム山が通る様にシリンダ・ヘッド内に入れる。



カムシャフトの奥のベアリングを先に入れる感じでカムシャフトをまっすぐに手で押し込みます。

(ヘッド自体に多少の個体差があるので少しかた目の物もありますがまっすぐにすれば手で入りやすいためハンマー等でたたかない様にして下さい)たたいて壊してしまってもクレームにはなりません。

## ロッカ・ア・ム組み付け

ロッカ・ア・ムのカム山当り面とロッカ・ア・ムシャフト穴にオイルを塗布する。

ス・バ・ヘッド内にロッカ・ア・ムを入れる。先にス・バ・ヘッドから外しておいたロッカ・ア・ムシャフトにオイルを塗布しロッカ・ア・ムに通して奥まで押し込みシリンダ・ヘッドカバーを取り付ける。

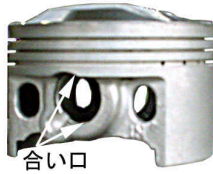
## ストロークアップクランクの組み付け

クラッチまわりの部品、フライホイールまわりの部品を取り外す。クランクケースの締め付けボルトを取り外し、クランクケースを分割する。ノーマルのクランクを取り外しストロークアップクランクに組み換える。

ガスケットを新品に交換してクランクケースを合わせ、クランクケースを締め付けボルトにて規定トルクで締め付ける。締め付け後クランクシャフトやミッションのシャフト類がスムーズに回ることを確認する。先に外したクラッチやフライホイールまわりの部品を逆の手順で組み付ける。

## ピストン組み付け

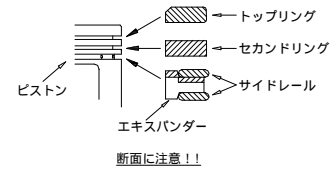
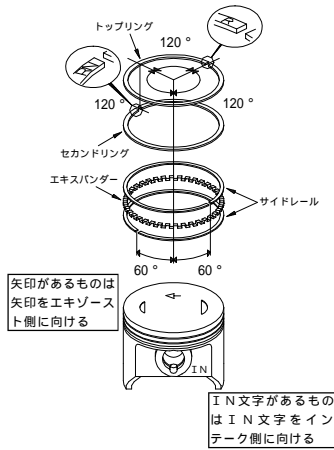
クランクケースのスリ・ブホ・ル部カムチェーンホ・ル部にきれいなウエスを詰め込む。ピストンのどちらか片方にピストンピンサークリップを取り付ける。ピストンピンサークリップの合い口は、ピストンピン穴の切り欠き部を避け、ピストンに対して上下方向に合わせる。



⚠ 警告：必ず指示に従う事。

ピストンリングみぞにオイルを塗布し、図を参考にしてピストンリングを取り付け合い口を合わせる。

ピストンのピン穴とコンロッドのピン穴とピストンピンにオイルを塗布しピストンをコンロッドに取り付ける。ピストンのもう片側にピストンピンサークリップを取り付ける。つめていたウエスを外す。



## シリンダ・組み付け

シリンダ・ベ・ス面を脱脂し、ノックピン2個とシリンダ・ベ・スガスケットラバ・パッキンを取り付ける。

シリンダ・内にオイルを塗布しピストンリングの合い口がずれない様にシリンダ・を取り付ける。ガイドロ・ラ・とシリンダ・サイドボルトを仮止めする。

## シリンダ・ヘッド取り付け

シリンダ・面とヘッド面を脱脂しノックピン2個を取り付ける。シリンダ・ヘッドガスケットにシルパッキンを塗りシリンダ・に取り付けラバ・パッキン2個を取り付ける。

カムチェーンを通しながらシリンダ・ヘッドを取り付けるカムチェーンは落ちないようにしておく。ヘッドワッシャとヘッドナットを取り付け規定トルクで締め付ける。シリンダ・ヘッドサイドボルトと先に仮付けていたガイドロ・ラ・ボルトとシリンダ・サイドボルトを締め付ける。

## カムスプロケット取り付け

カムチェーンテンションの張りを緩める。カムシャフトを圧縮上死点にする。フライホイールのTマ・クがクランクケースの切りかきに合っている状態でカムスプロケットの切りかきに合っているか確認する。テンションを組み合わせる。

## タペット調整

圧縮上死点に合わせてタペットすき間をIN・EX共0.08に合わせる。調整後フライホイールを何回か正回転に回し再度圧縮上死点に合わせてタペットすき間に変化がないか確認する変化がなければタペットナットが規定トルクで締まっているか確認しタペットキャップとシリンダ・ヘッドカバーを取り付ける。

## バルブタイミング調整

レーシングカムシャフトの場合は必ず全分度器とダイヤルゲージにて調整を行って下さい。

106 RACING  
IN OPEN  
上死点前25°  
IN CLOSE  
下死点後55°  
EX OPEN  
下死点前55°  
EX CLOSE  
上死点後25°

## キャブレタ・マフラー等を取り付ける

### - - 組み付け後の注意 - -

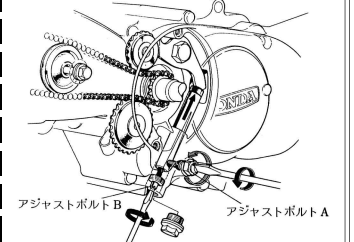
エンジンを始動する前にオイル量を点検し、イグニッションキ・OFF、ガソリンコックOFFの状態ですバ・クブラグを外し、しばらくキックをエンジン各部にオイルを充分に行きわたせた後、始動して下さい。始動後もいきなり高回転まで回さずなるべく低い回転で維持する様にして下さい。エンジンを組み付けた時、規定トルクで締め付けているボルトやナットもエンジンが温まり熱膨張を繰り返すと少しずつ緩んでくる場合がありますので、定期的に各ボルト・ナット類をましまし締めして下さい。

## 6V車

6V車はカムチェーンテンションがマニュアル式の為に、定期的にチェックしないとカムチェーンが弛み、バルブタイミングや点火時期が狂います。弛んだままでバルブタイミングや点火時期を調整してもちゃんとした調整ができないのでエンジン不調やエンジン破損の原因にもなります。バルブタイミング、点火時期、タペット調整はカムチェーンが弛んでいないか点検後して下さい。

## カムチェーンテンションの調整

カムチェーンの調整を行った場合は、点火タイミングの点検を行って下さい。



8mmナットを緩め、アジャストボルトAを緩めれば、スプリングにより自動調整されますが、カムチェーンの張りが十分でない場合はアジャストボルトAを緩めたままアジャストボルトBを徐々に締め込み、フライホイールを回しても、カムスプロケットとのガタが無い程度に調整を行う。アジャストボルトAを締め込み、8mmナットを締め込む。

## ポイント調整

点火時期はフライホイールを取り外して、取り付けただけでも狂ってしまう場合がありますので、フライホイールを取り外したり、カムチェーン調整後は点火時期が狂っていないか点検して下さい。

フライホイールを回転方向に回し、Fマ・クが切りかきを過ぎるあたりからポイントが開く様に調整し、ポイントが一番開くあたりでフライホイールを止めてその時のポイントすき間が0.3~0.4の範囲にあればある程度はあっています。あとは、タイミングライトやポイントテスタを使用しアイドル時にFマ・クが切りかきにくる様にポイントすき間を調整する。調整後再度ポイントが一番開く所でフライホイールを止めてポイントすき間が0.3~0.4の範囲であればOKです。この時のポイントすき間が0.3~0.4以外の場合ポイント交換になります。又ポイント面が荒れていたり、欠けたりしている場合も新品に交換して下さい。

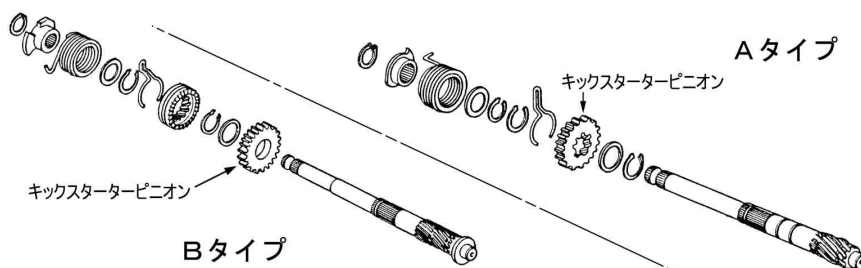
## 使用パーツ一覧

オイルポンプ	スーパーオイルポンプ	6V: 01-16-004
		12V: 01-16-005
クラッチ	スペシャルクラッチ	
	乾式クラッチ	
点火系	6V	アウターローター式C.D.I: 05-02-082 05-02-081は不可
		レース専用インナーローター式C.D.I: 05-02-05
	12V	ノーマルジェネレーター/ノーマルC.D.I
		ノーマルジェネレーター/ハイパーC.D.I
		レース専用インナーローター式C.D.I: 05-02-05
レース専用インナーローター式C.D.Iベースプレートについて		
エキゾーストマフラー	Street Basic (ノーマルキックスターターアームが干渉。バックステップは09-10-245のみ可。もしくはブレーキロッドが干渉する恐れがあります。)	
	BOMBER (ノーマルキックスターターアームが干渉する恐れがあります。)	
	Hyper BOMBER (ノーマルキックスターターアームが干渉。)	
	Hyper Street Down	
キャブレター	三国 VM26: 03-05-044、03-05-045	
	KEIHIN PE28: 03-05-094	

## 5速トランスミッション使用時について

5速ミッションキットを取り付ける場合キックスタータースピンドルがAタイプの場合は必ずBタイプに交換して下さい。キックスタート時にトルクの伝達効率が向上しギヤにかかる負荷を軽減できるため、ギヤ破損防止にもつながります。

Bタイプキックスタータースピンドル交換の場合はキックスターターピニオンも同時に交換が必要です。ミッションキットに合った歯数の物に交換して下さい。Aタイプのキックスターターピニオンは使用出来ませんので注意して下さい。



品名	品番
Bタイプキックスタータースピンドルキット	02-04-001
Bタイプキックスターターピニオン 23T	K-23B
Bタイプキックスターターピニオン 25T	K-25B

点火時期が当社の設定より早いものは対象から除外させていただきます。よって、他社製品との組み合わせはトラブルの原因にもなりますので絶対に行わないで下さい。

ポイント点火使用時は、ノーマルの点火時期 (Fマーク .30°) よりも絶対に早くしないで下さい。ただし、いかなる場合もクレームは一切お受け致しません。あらかじめご了承下さい。

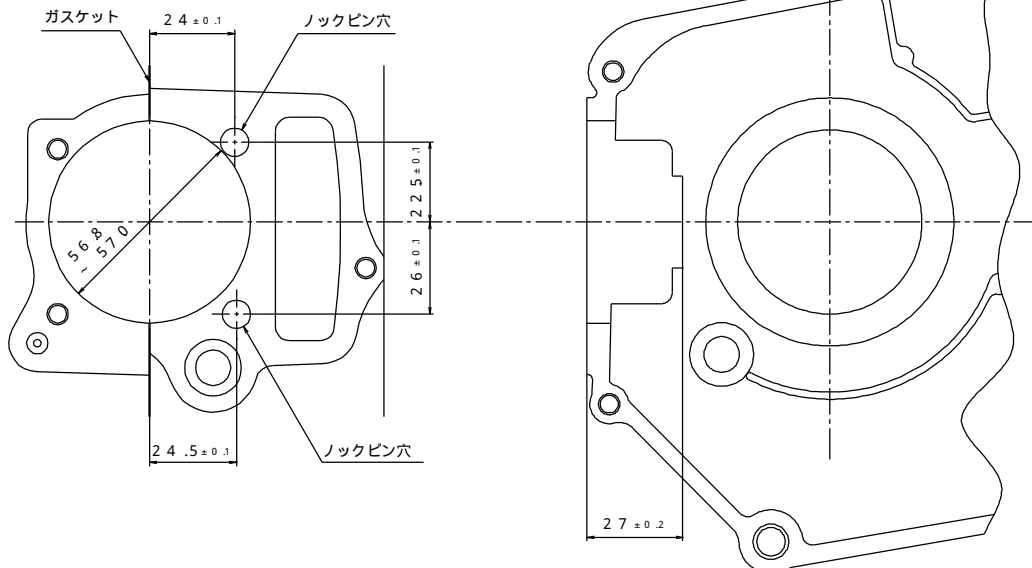
使用限界回転数は10500rpmとなります。エンジン回転計を取り付け、必ず限界回転数以下でご使用下さい。

特に、空ぶかし時や1速ギア、2速ギアでの急加速時は使用限界回転数に入りやすいのでご注意ください。使用限界回転数以上でご使用されますと、エンジン回転が円滑になり、エンジン寿命に悪影響を及ぼすだけでなく、最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。

## ハイクオリティシリンダーをご使用される場合

### ～クランクケースボーリング加工～

加工寸法は、クランクケースガasketをはさんだ状態の仕上がりで 56.8 ~ 57.0 mm、深さ 2.7 mm になるように、当商品を合わせながら少しずつ削って下さい。加工するとノックピン穴との肉厚は薄くなり耐久性は低下します。それによりクランクケースが損傷する場合があります。



### ～当社へクランクケースの加工をご依頼される方へ～

住所、氏名、電話番号、車種、フレームナンバーを必ず明記の上、ご同封下さい。

送料はお客様負担です。

当社取扱車種に限らせて頂きます。

当社へご依頼される前に必ず下記作業を行って下さい。指示通りに作業が行われていない場合、未加工の上お客様負担で返品させていただく事があります。

尚、クランクケース加工時にケースに巣等が発見された場合、当社はその責任を負いません。

ホンダ純正サービスマニュアルを参照し、クランクケースを分割して下さい。

R .クランクケースに付いているスタッドボルト、ドレンボルト、オイルフィルタースクリーン、シフトリフタースプリングピンを取り外します。L .クランクケースに付いているスタッドボルト、ニュートラルスイッチコンタクト、カムチェーンガイドスプロケット、カムチェーンテンションアームプッシュロッド、カムチェーンテンションアームを取り外します。スクレーパー等を用いてクラッチカバーおよびクランクケース合わせ面のガasketをきれいに取り除いて下さい。クランクケースの汚れや、油分をきれいに取り除いて下さい。

使用されていた 10 mm のクランクケースノックピン 2 個を同封の上、輸送中の破損等の防止のためクランクケースの周りをクッション性の良い物で覆ってから梱包して下さい。

#### スタッドボルト取り付けの注意

- クランクケースボーリングに伴いケースの強度は低下します。スタッドボルトを規定トルクで締め付けてもクラックが発生する場合がありますので注意し、締め付けて下さい。
- 尚、スタッドボルト取り付け時にネジロック剤を塗布することをお勧めします。
- ロックタイト 241 相当品

#### ご注意

クランクケースを加工されますとケースの肉厚が薄くなり、強度が落ちますのでスタッドボルトの締め付けには、充分ご注意ください。ご使用中におかれましても損傷する場合がございますがご了承下さい。如何なる場合におきましても当社は一切の責任を負いません。



**SPECIAL PARTS TAKEGAWA**

〒584-0069

大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721-25-1357

FAX 0721-24-5059

URL <http://www.takegawa.co.jp>